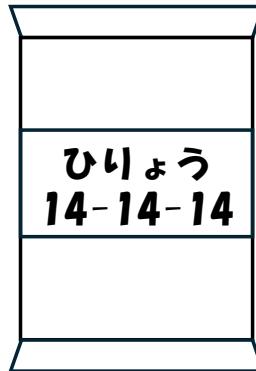


肥料は、栽培暦や施肥基準、土壤診断の結果等に基づいて適正量を施用しましょう



観察点検のポイント

- ・肥料の成分比率は把握しているか？
- ・前作の残肥はないか？
- ・ほ場内に生育ムラはないか？
- ・養分欠乏/過剰は観察できるか？
- ・前年との差はあるか？
- ・毎年生育が悪い場所があるか？

「いい農業にしよう運動」
についてはこちら→

穀 11・野 12

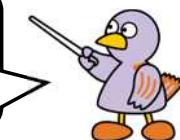


自己点検

～効果と安全性のために～

- 埼玉県やJAが示している施肥基準を確認する
- 生育や天候に応じて施肥量を調節する
- 施肥用機械や器具の点検・整備を行い、施肥の精度を上げる
- 土壤診断に基づき、ほ場の養分バランスを考慮した施肥を行う

毎年同じように肥料や堆肥を施用していると、知らず知らずのうちに土壤の養分バランスが崩れている場合があります。代表的なほ場だけでも土壤診断して傾向を確認しましょう！



上記はS-GAP取組項目の1つです。ご興味がある方は下記にご連絡ください。

S-GAP認証の取得にご興味がある方は下記にご連絡ください。

大里農林振興センター 管理部 地域支援担当 048-523-2812